



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 神田通信機株式会社
コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田辺 正行

TEL 03-3252-7731

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,911	0.8	196	80.5	253	55.3	185	76.6
2022年3月期第3四半期	3,880	0.7	109	51.5	163	41.5	104	46.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 182百万円 (11.0%) 2022年3月期第3四半期 164百万円 (49.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	78.03	
2022年3月期第3四半期	43.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	7,725	5,071	65.6	2,129.88
2022年3月期	8,352	5,017	60.1	2,117.15

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,071百万円 2022年3月期 5,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				30.00	30.00

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	4.3	300	19.0	350	21.0	230	59.1	97.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	2,623,227 株	2022年3月期	2,623,227 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	242,174 株	2022年3月期	253,413 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	2,375,248 株	2022年3月期3Q	2,414,074 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予測値と異なる結果となる可能性があります。詳細は[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化が進み、景気に持ち直しの動きがみられました。一方、長期化する半導体の供給不足による部品供給の滞りやウクライナ情勢等を背景とする原材料やエネルギー価格の高騰、金利・為替・株式等の金融市場の変動等の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、2021年4月からスタートした中期経営計画において、企業価値向上に向けて、「存在意義の確認」を継続して取り組んでおります。情報通信事業では、24時間365日対応の強みを活かし、ネットワークシステム・クラウドPBX・マルチゲートウェイ等の新規事業および保守料・利用料を増やし、売上増加と収益性の向上を目指しております。保守料は概ね順調に推移しましたが、新規事業は、立ち上がりに時間が掛かっています。成長が見込まれる照明制御事業は、競争の激しいゼネコン等への組織的なアプローチで、売上規模拡大に取り組ましました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は39億11百万円(前年同四半期比0.8%増)となり、営業利益は1億96百万円(前年同四半期比80.5%増)、経常利益は2億53百万円(前年同四半期比55.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億85百万円(前年同四半期比76.6%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 情報通信事業

従来のネットワークインフラの設計・提案・構築、お客様の問題解決につながるソリューション提案を積極的に展開いたしました。また「社会福祉協議会向け会員総合情報システム[こころ]」「各種子供施設様向け支援システム[CoDMON]」「様々な設備をつなぐソフトウェア[マルチゲートウェイ]」等のネットワークインフラ構築と利用料ビジネスを推進しました。保守料が概ね順調に推移したことに加え、収益性向上策の推進により利益率の向上につながりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は35億76百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益は1億89百万円(前年同四半期比76.6%増)となりました。

② 照明制御事業

DALI制御による照明制御システムの設計・販売・施工を軸として、売上規模の拡大のため、ゼネコン等を中心に積極的にビジネスを展開いたしました。新築ビル案件のスマートビル化対応では[マルチゲートウェイ]の需要が増えており、大手ゼネコンや照明メーカーとの他社協創も進めています。しかしながら、前年同四半期と比べて、受注残売上が少なかった影響により売上が前年を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2億90百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業損失は19百万円(前年同四半期は営業損失21百万円)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は45百万円(前年同四半期比0.1%増)、営業利益は26百万円(前年同四半期比15.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は77億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億27百万円減少しました。これは主に、受取手形、完成工事未収入金等及び契約資産が3億89百万円、現金預金が2億11百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は26億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億81百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が3億20百万円、未払法人税等が1億43百万円、賞与引当金が1億16百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は50億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して54百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が43百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、半導体（関連部品含）不足による無線機およびネットワーク機器の生産遅れによる納期への影響を織り込んでおります。半導体不足の先行きは不透明であることから、今後、様々な要因の変化が生じた場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績見通しの修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,799,073	2,587,190
受取手形、完成工事未収入金等及び契約資産	1,838,529	1,448,537
未成工事支出金	70,941	117,196
仕掛品	8,319	12,793
その他の棚卸資産	4,486	4,133
その他	147,528	141,281
貸倒引当金	△3,530	△2,627
流動資産合計	4,865,348	4,308,504
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	293,085	279,764
土地	1,240,673	1,240,673
その他（純額）	15,039	11,120
有形固定資産合計	1,548,798	1,531,558
無形固定資産		
	47,406	39,338
投資その他の資産		
投資有価証券	1,358,000	1,365,933
繰延税金資産	157,544	112,317
その他	391,780	384,132
貸倒引当金	△16,620	△16,700
投資その他の資産合計	1,890,703	1,845,682
固定資産合計	3,486,908	3,416,579
資産合計	8,352,257	7,725,084

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,167,514	846,518
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	151,134	7,998
賞与引当金	176,670	59,970
役員賞与引当金	26,415	3,750
受注工事損失引当金	—	1,335
その他	522,981	430,185
流動負債合計	2,244,716	1,549,757
固定負債		
リース債務	212,606	199,554
退職給付に係る負債	808,223	830,388
役員退職慰労引当金	47,886	52,447
その他	21,575	21,575
固定負債合計	1,090,292	1,103,966
負債合計	3,335,008	2,653,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,097,909	1,103,093
利益剰余金	2,268,643	2,311,784
自己株式	△186,529	△178,078
株主資本合計	4,490,848	4,547,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520,217	522,189
退職給付に係る調整累計額	6,183	1,545
その他の包括利益累計額合計	526,400	523,735
純資産合計	5,017,249	5,071,359
負債純資産合計	8,352,257	7,725,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,880,829	3,911,713
売上原価	2,869,469	2,776,840
売上総利益	1,011,359	1,134,873
販売費及び一般管理費	902,273	937,954
営業利益	109,086	196,918
営業外収益		
受取配当金	21,638	26,560
受取手数料	24,626	26,499
その他	10,376	6,808
営業外収益合計	56,641	59,868
営業外費用		
支払利息	2,155	2,200
その他	460	1,236
営業外費用合計	2,615	3,436
経常利益	163,112	253,349
特別利益		
固定資産売却益	23,000	—
投資有価証券売却益	—	31,031
特別利益合計	23,000	31,031
税金等調整前四半期純利益	186,112	284,380
法人税、住民税及び事業税	24,519	54,265
法人税等調整額	56,623	44,784
法人税等合計	81,142	99,050
四半期純利益	104,969	185,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,969	185,330

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	104,969	185,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,135	1,972
退職給付に係る調整額	484	△4,637
その他の包括利益合計	59,620	△2,665
四半期包括利益	164,590	182,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,590	182,664

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	3,531,541	304,172	45,115	3,880,829
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,531,541	304,172	45,115	3,880,829
セグメント利益又は セグメント損失(△)	107,386	△21,658	23,358	109,086

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	3,576,542	290,031	45,139	3,911,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,576,542	290,031	45,139	3,911,713
セグメント利益又は セグメント損失(△)	189,595	△19,653	26,975	196,918

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。